

広島県/中国四国厚生局共催 地域包括ケアシステム初任者セミナー

地域包括ケアシステム総論

～アウトカムから考える

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

共生・社会政策部長

主席研究員 岩名 礼介

雑談、感想、コメント、質問などをスマホ等で同時共有できます。

右のQRコードを読み取っていただければ、下記のイベントコードを入力しなくてもアクセスできます。

下記URLからアクセスする場合は、イベントコードを入力してアクセスしてください。

www.sli.do

Event Code:

#carp



すべてのご質問への回答はお約束できませんので、あらかじめご了承ください。入力されたコメントは、本研修の参加者に開示されます。なお、投稿されたデータは、イベント終了後、数日内に削除しますが、主催者により個人が特定されない形で、研修事業への評価等として公開する場合がありますので、ご注意ください。

地域包括ケアシステムとは何をするのか？

地域包括ケアシステムの定義と目指すもの

地域包括ケアシステム が目指すもの

高齢者が尊厳を保ちながら、重度な要介護状態となっても、**住み慣れた地域**で**自分らしい暮らし**を人生の最後まで続けることができる

それが成り立ちにくいからこそ、**地域包括ケアシステムの構築が必要**

地域包括ケアシステム の定義

ニーズに応じた住宅が提供されることを基本とした上で、生活上の安全・安心・健康を確保するため、**医療や介護、予防**のみならず、福祉サービスを含めた様々な**生活支援サービス**が日常生活の場（日常生活圏域）で適切に提供できるような地域での体制

「住み慣れた地域」で「自分らしい暮らし」ってどういうこと

住み慣れた地域

通勤族にとっての住み慣れた地域ってなんですか？ 誰もが同じ家に住み続けることが少なくなったこの時代に、「住み慣れた地域」とは何を意味するのでしょうか？ 物理的な地域に愛着があるのでしょうか？ 本当は、「**なじみの人間関係**」にこだわっているのではないのでしょうか。

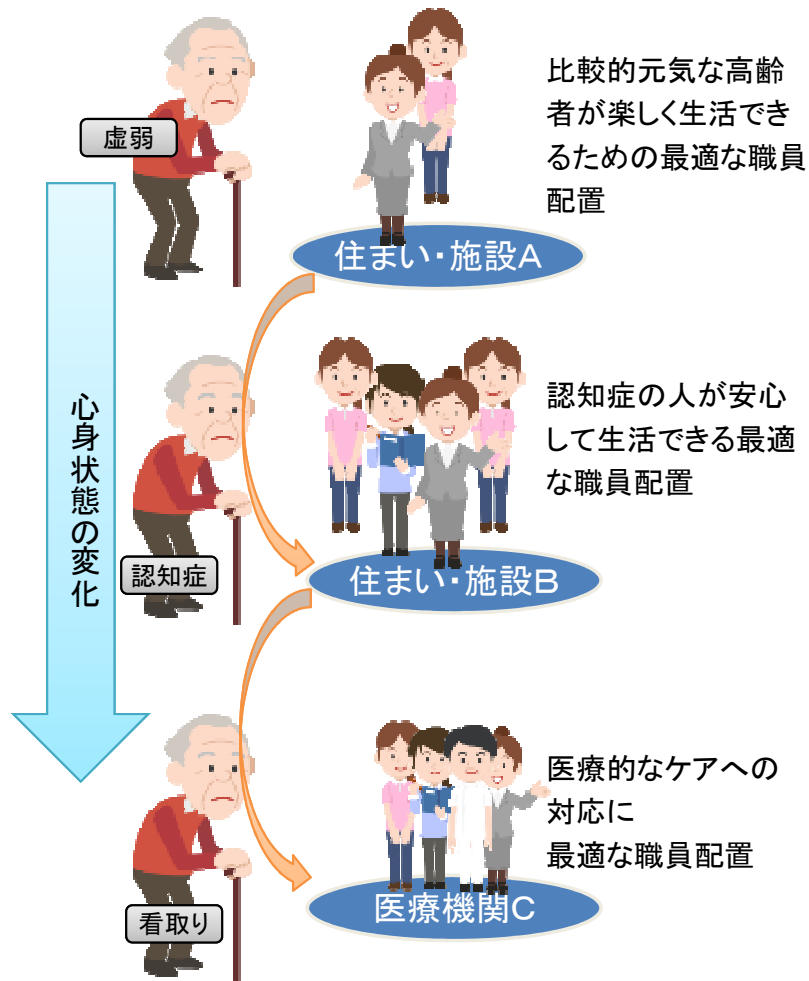
自分らしい暮らし

みんな大好きな「自分らしさ」。自分の生活を振り返ってみて、そんなカッコいい生活していますか？ 自分らしさとは、「**マイペースに生活できる気楽さ**」くらいでいいのでは？ 自分らしい暮らしとは「寝る前に一杯やれる気楽さ」。それは、自宅でやれば「マイペース」、施設でやれば「自分勝手」。ちょっとした自分勝手をマイペースといってくれる施設も大切かもしれません。

なじみの関係を維持するためには「人にケアを合わせる」

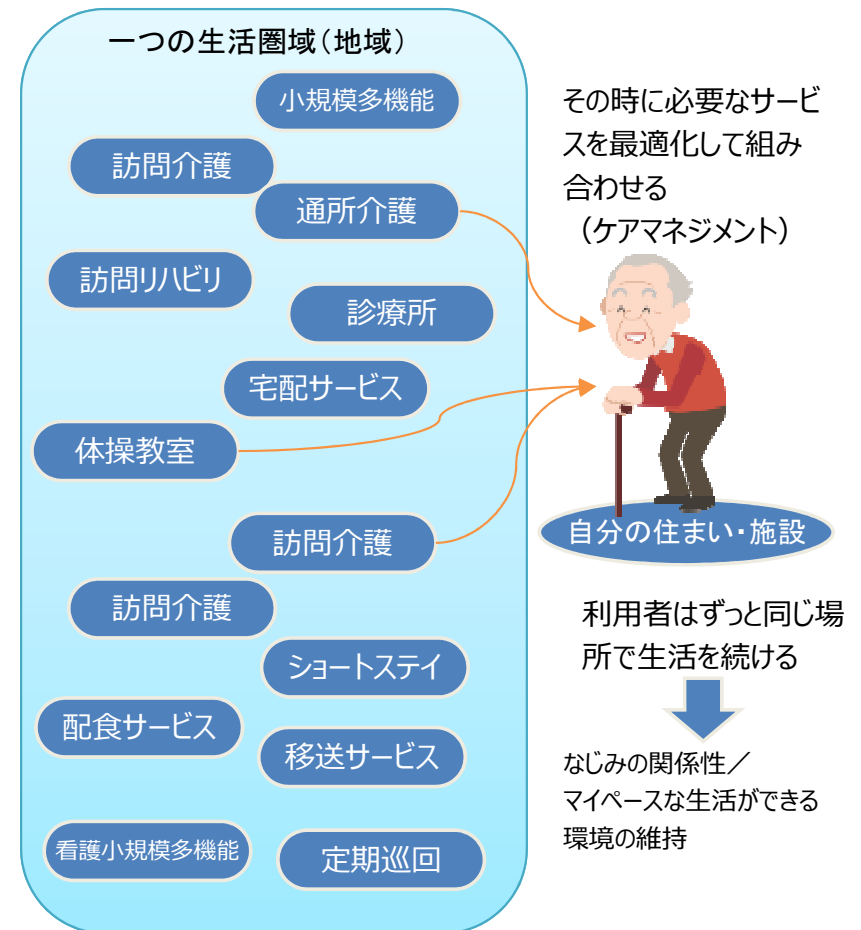
人がケアに合わせる仕組み

施設単位でパッケージ化（最適化）された仕組み



人にケアを合わせる仕組み

地域単位でパッケージ化（最適化）された仕組み



「地域」の中に「包括」的に「ケア」があり、これを組み合わせる

なじみの関係を維持するためには「人にケアを合わせる」

人にケアを合わせる仕組み

地域単位でパッケージ化（最適化）された仕組み

専門職間の連携推進

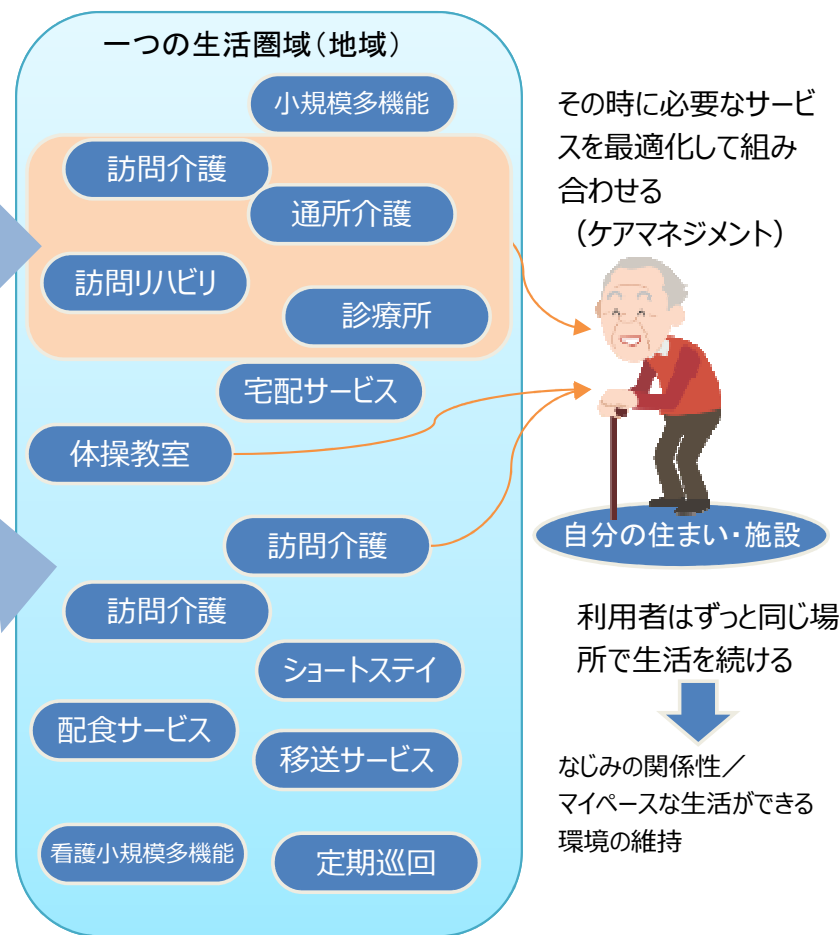
＜在宅医療・介護連携推進事業＞

サービスの提供主体は、異なる法人であっても事業者間で連携することで、一体感を醸成。利用者の不安を軽減し、**なじみの環境での生活継続**を「安心感」をもって支える。

多様な選択を提供

＜生活支援体制整備事業＞

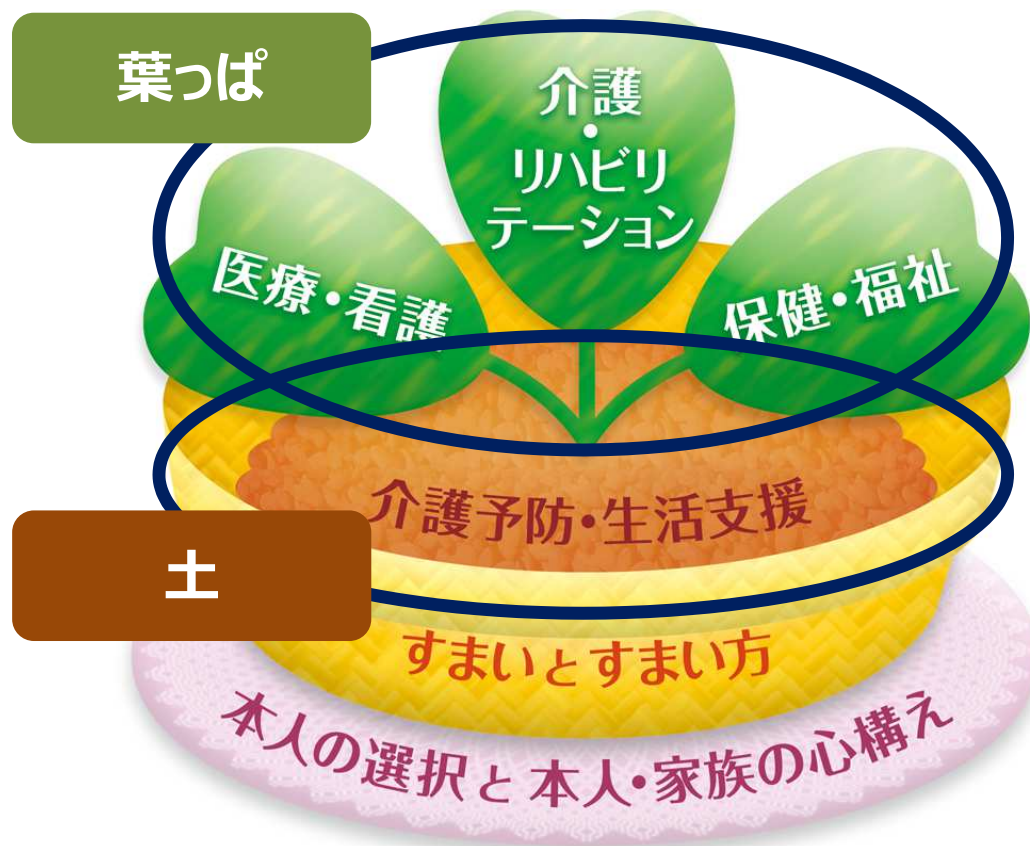
一人ひとりの生活の多様性に寄り添うため、生活支援は地域生活については、可能な限り多様な選択肢を提示できるように地域資源を発見・開発する。



「地域」の中に「包括」的に「ケア」があり、これを組み合わせる

普通の生活を支えるための資源と事業

地域包括ケアシステムの植木鉢



資格や専門的な知識を もった専門職

医師、看護師、リハビリテーション職、介護職、ケアマネジャー、保健師、ケースワーカーなど。

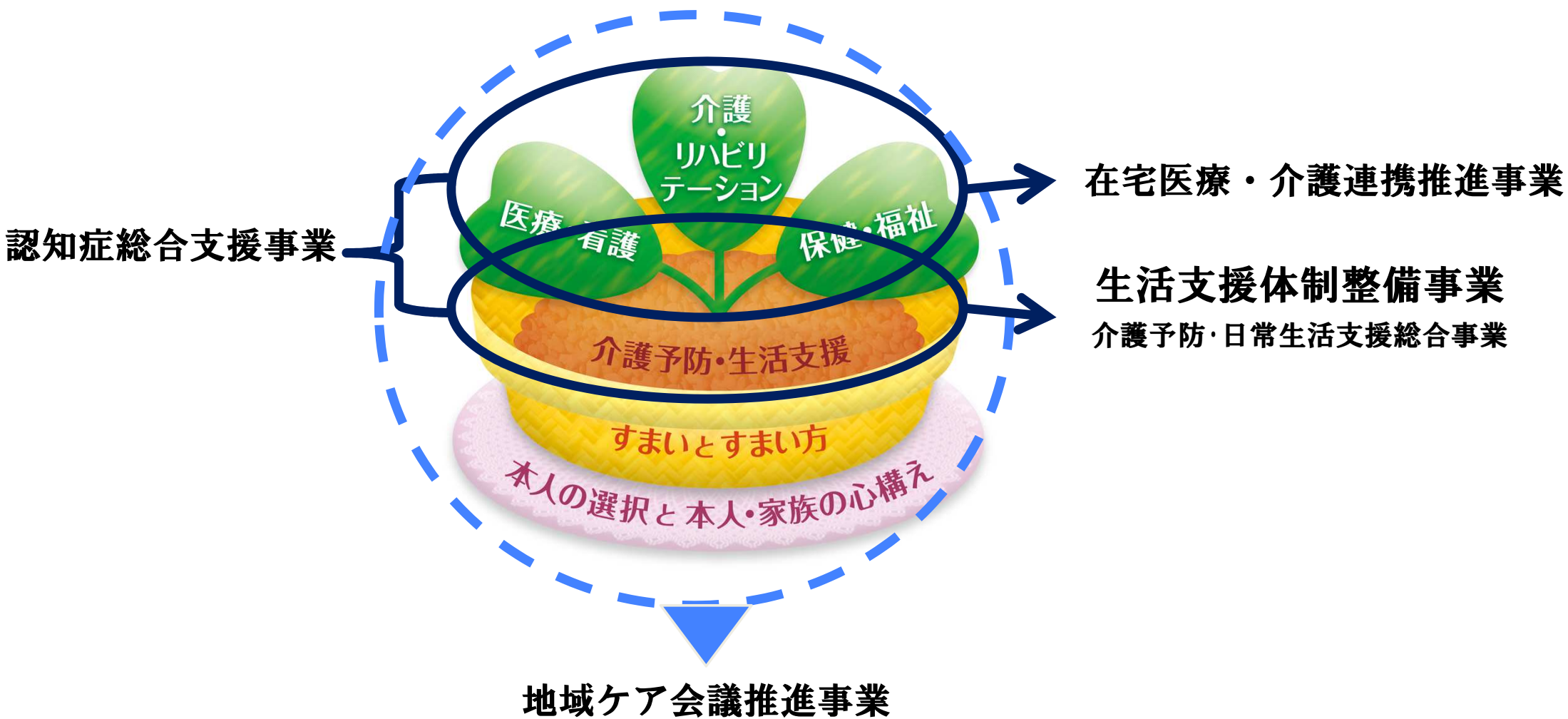
日常生活／地域生活

地域の様々な主体や関係者を表している。住民グループは趣味の会、ボランティアグループ、民生委員、町内会、ご近所づきあい、民間企業、商店街、コンビニ、郵便局など。

出所) 植木鉢の絵: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業報告書」(地域包括ケア研究会)、平成27年度老人保健健康増進等事業。

地域包括ケアシステムは「葉っぱ事業」「土事業」である

新しい地域支援事業（包括的支援事業）は、地域包括ケアシステムを具体化するための取組の総称



出所)植木鉢の絵:三菱UFJリサーチ&コンサルティング「地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業報告書」(地域包括ケア研究会)、平成27年度老人保健健康増進等事業。楕円と周辺の文字については筆者が加筆。

地域包括ケアシステムの植木鉢



葉っぱ事業

まとめる

共助

公助

土事業

まきこむ・まじわる

自助

互助

共助

公助

土事業では「四助」すべてが関わるものの、共助や公助の関わりは部分的。専門職にしかできないことに集中していくためにも、自助や互助の役割がより重要に。専門職の役割は、部分的／側面的な支援となっていく。

出所) 植木鉢の絵: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業報告書」(地域包括ケア研究会)、平成27年度老人保健健康増進等事業。

地域包括ケアシステムとは何？

葉っぱ事業

まとめる

- ◆ 地域の様々な資源をまとめていく仕組み。特に、専門職については、事業者間の連携コストを引き下げるための取組を推進していくことが重要。
- ◆ 自分達の取組が「どういう意味で」「何を」まとめているのかを意識していくと、個々の取組が地域包括的であるかどうかを考えることができる。

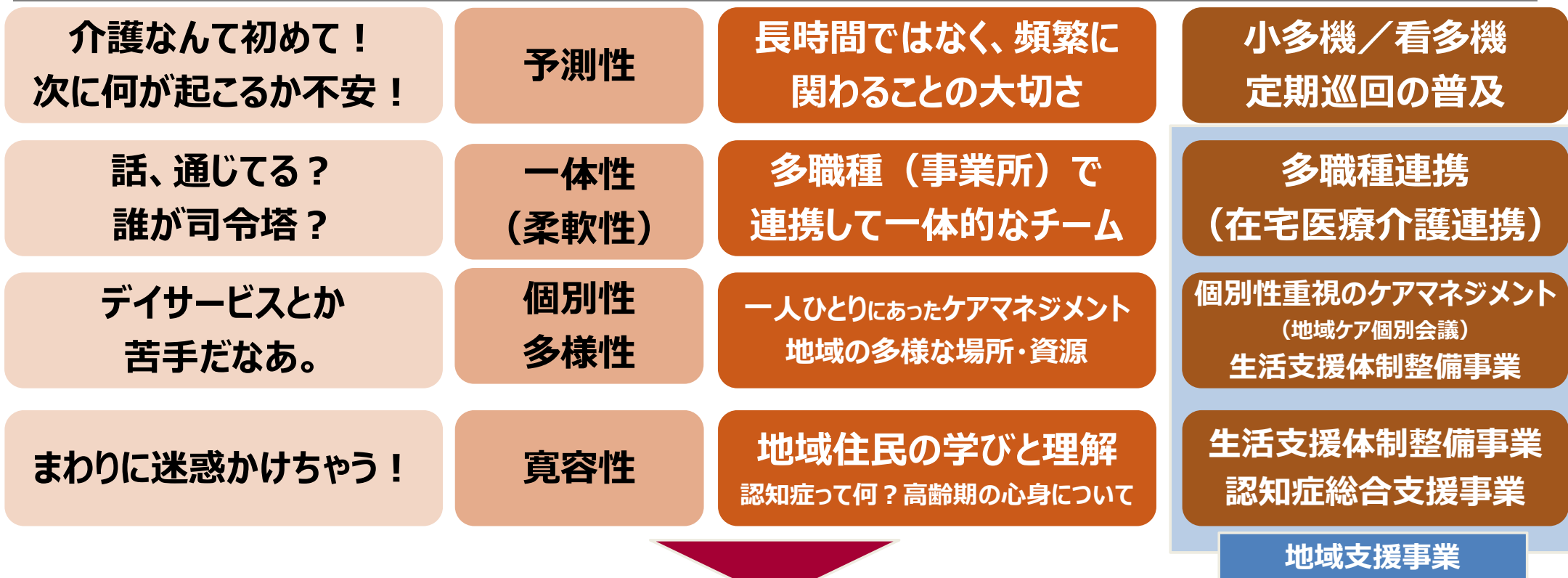
土事業

まきこむ・まじわる

- ◆ 地域包括ケアシステムは、専門職以外の関係者が参加してはじめて成立すると考えるべき。地域住民や、家族、ご近所とのつながりなど「自生的に土壌が構成」されることが重要。介護分野以外の関係者がどれだけ参加するかがポイント。医療・介護関係者だけで形成される地域包括ケアシステムは脆弱である。事業者も行政も、介護以外の世界の人と「まじわる」ことが大切。

地域包括ケアシステムは欠乏を埋める仕組みではない

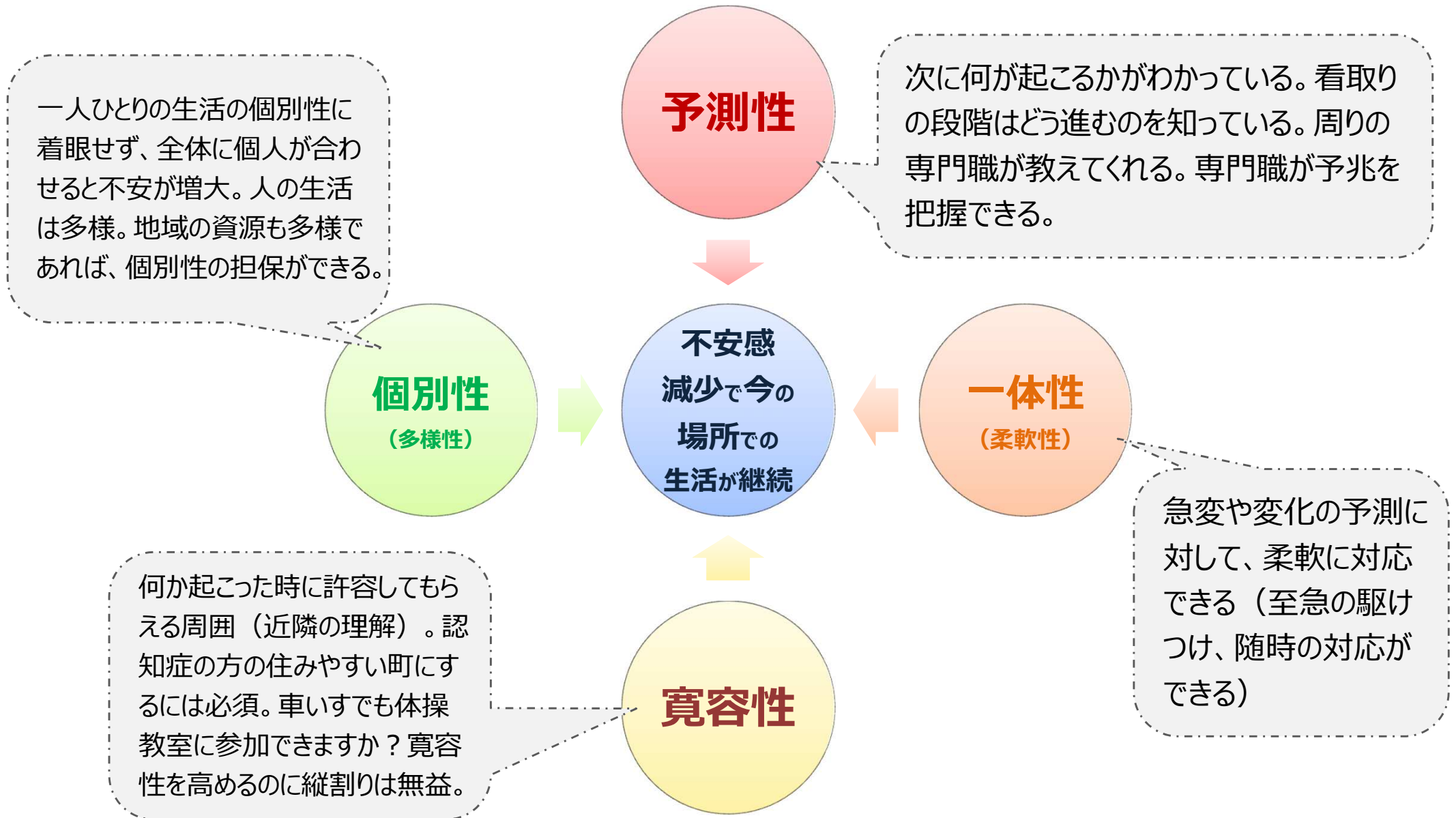
住民はなぜ在宅介護が不安なのか？



地域包括ケアシステムは
「量」の問題ではなく、「質」（サービスの多様性やつながり）の問題

- だから、、、①成果を焦らない ②外に出て人とつながる職員が大事（頻繁な人事異動はNG）
③関係者の当事者意識や主体性が大切だから行政で計画しない（一緒に企画する）
④PDCAとか言いすぎない（朝令暮改もOK） ⑤企画業務だと考える ⑥丸投げ型委託は最悪。

不安を取り除き、安心感を与えるためには？



地域包括ケアシステムの植木鉢



ま と め る

予測性

一体性

専門職サービスがまとまっており、利用者からみて、**一体的**であれば、心身状態にあわせてより柔軟にサービス提供が可能になり、心身状態が変化しても地域生活を継続できる。またこの一体性が、心身状態の変化の**予測性**を高めることで、重度化予防にもつながっていく。

ま じ わ る

個別性

寛容性

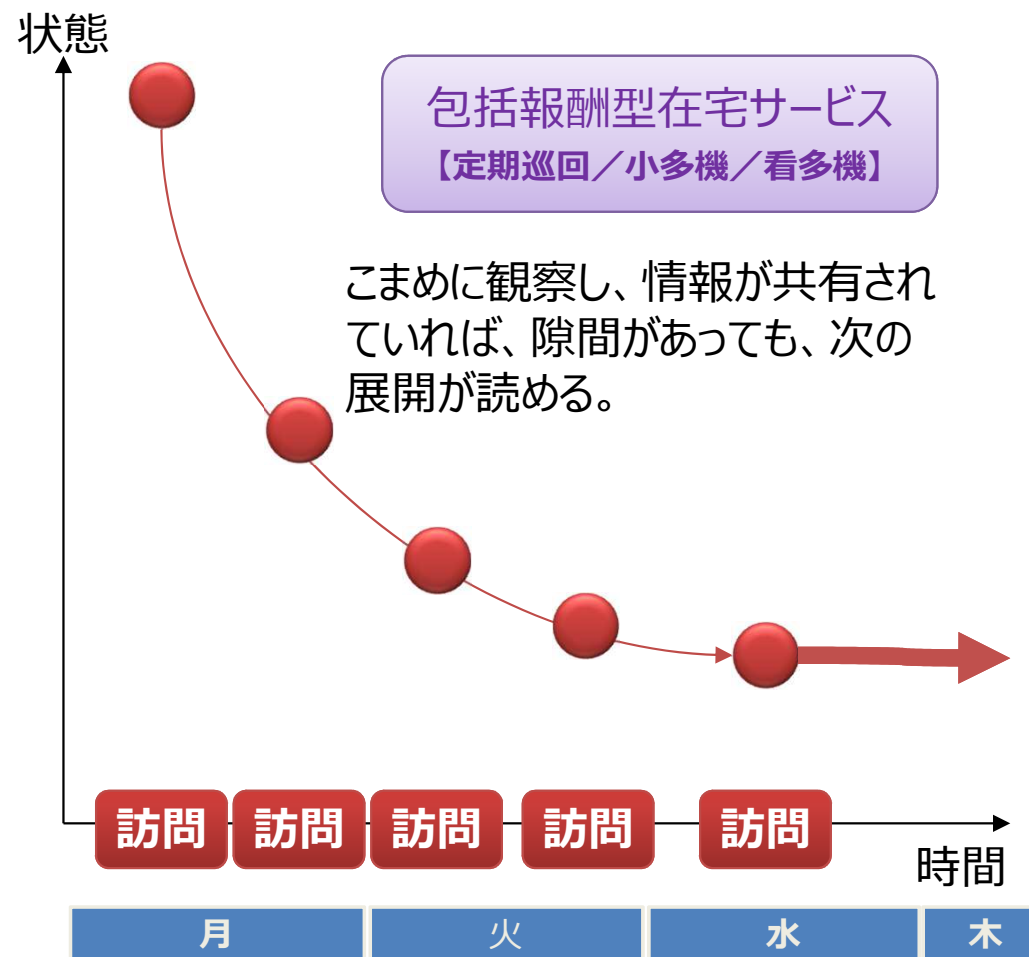
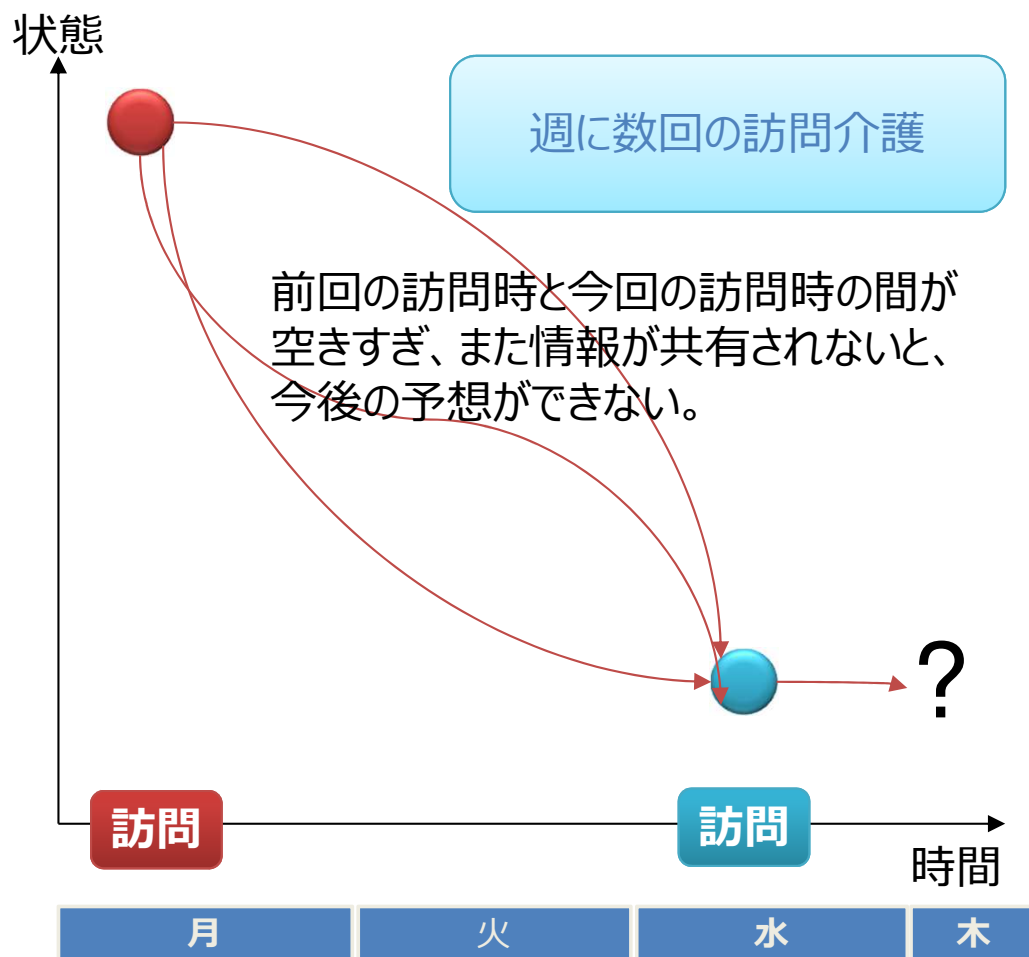
地域の資源が多様であれば、利用者の選択肢が広がり、より従前の生活の**個別性**を尊重できる。また本人の周辺（家族・地域社会）がより疾患や心身状態（認知症を含む）に理解を深め、**寛容**であれば、より地域での生活の継続性が高まる。

出所) 植木鉢の絵: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング「地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業報告書」(地域包括ケア研究会)、平成27年度老人保健健康増進等事業。図全体の構成は、岩名礼介講演資料(三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社)

不安を除去するには何が必要か？

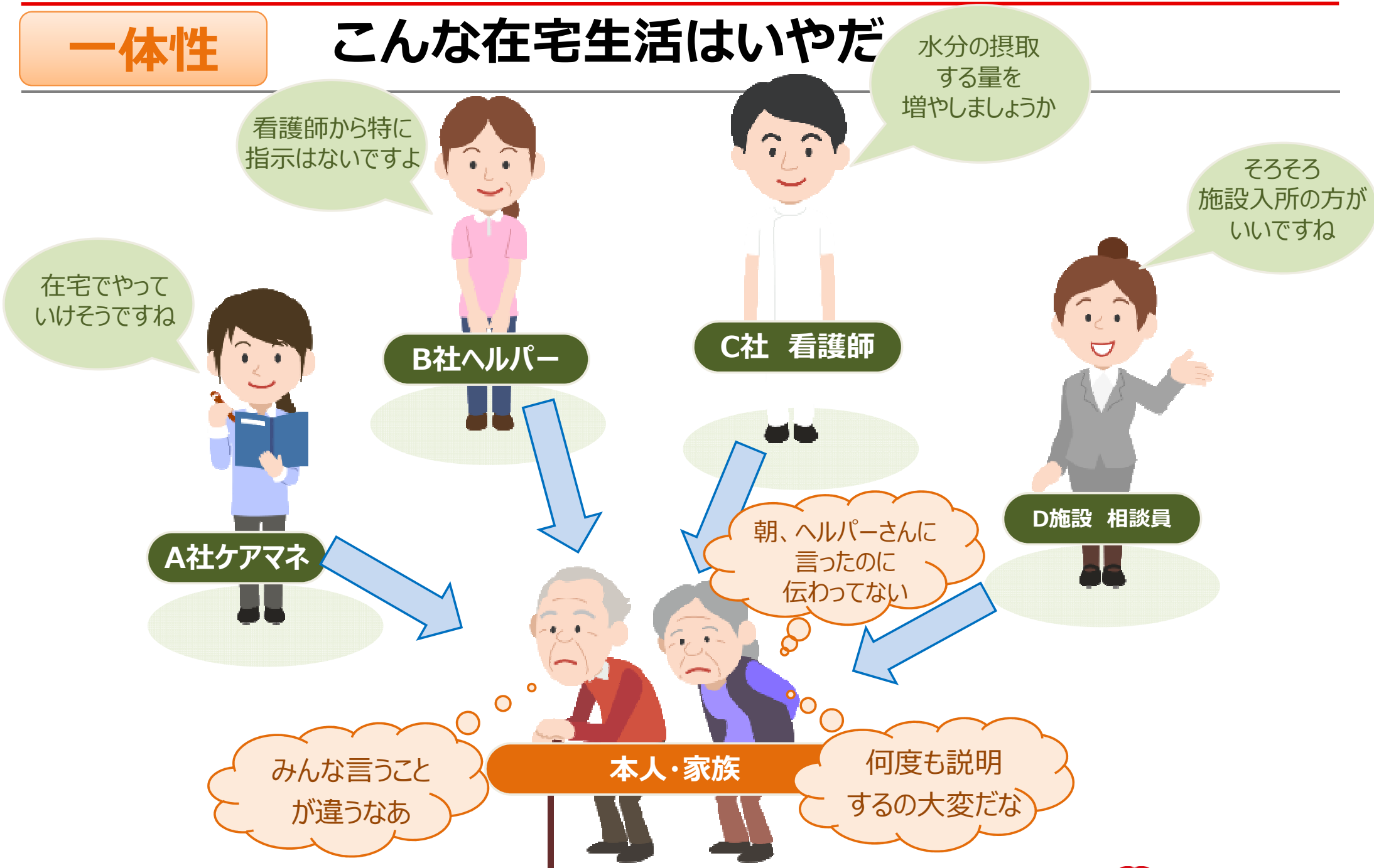
予測性

点と点の間の距離が長いと、次になにが起こるのか、予想できない。
それぞれの点での観察が共有されていないと、予想ができない。



一体性

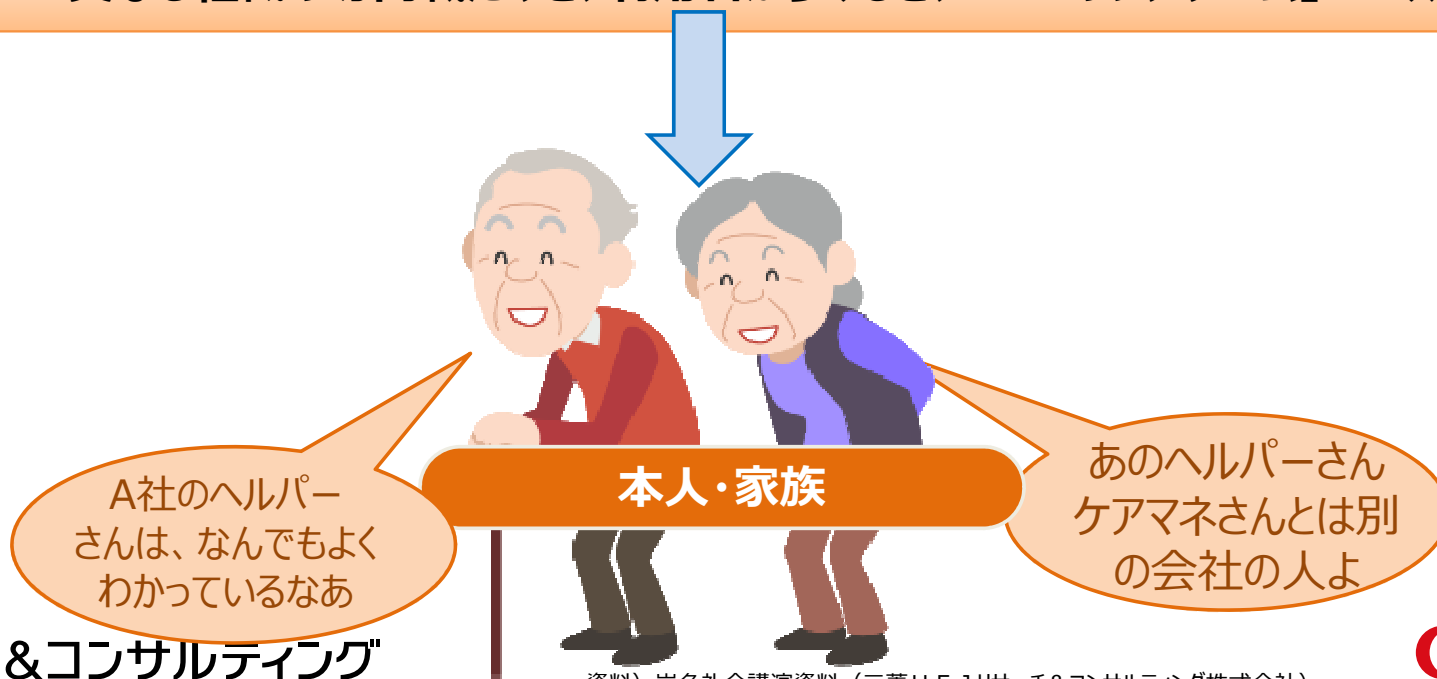
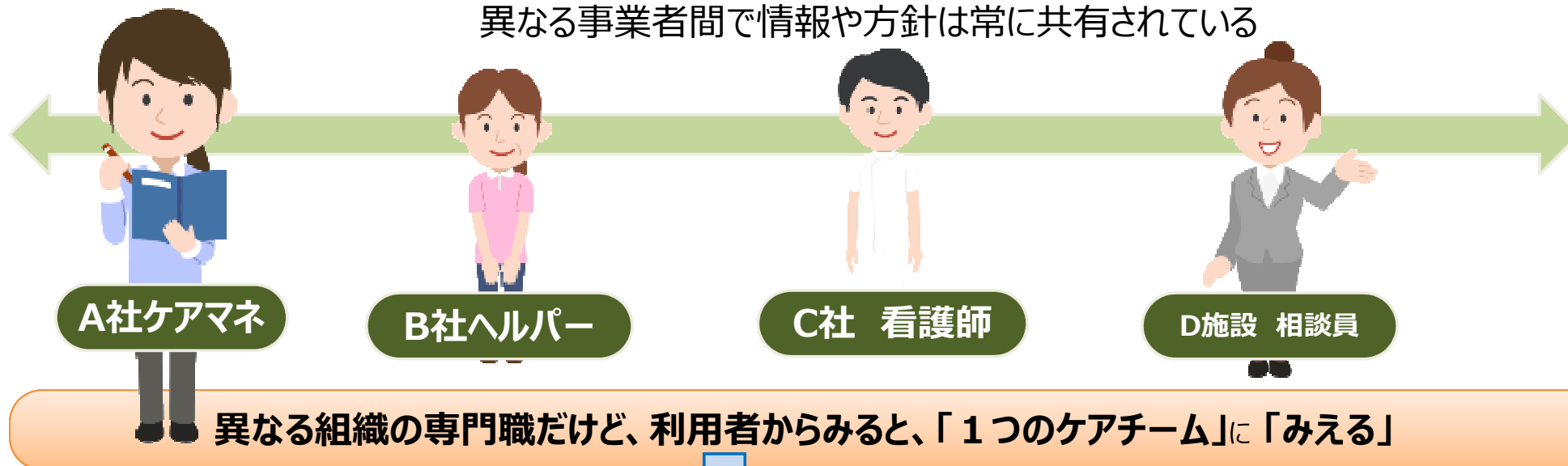
こんな在宅生活はいやだ



一体性

利用者からみて一体的なケア

異なる事業者間で情報や方針は常に共有されている



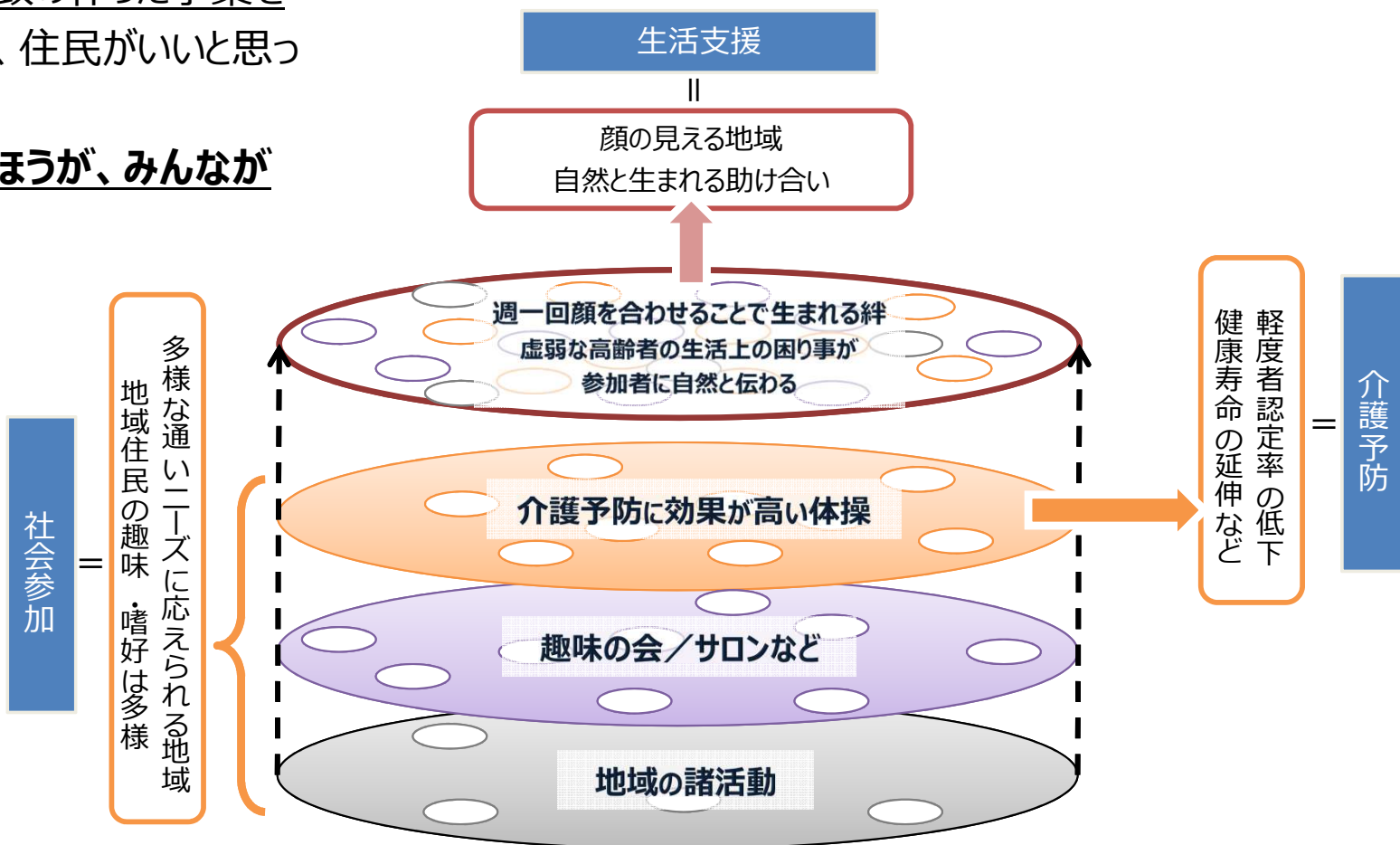
不安を除去するには何が必要か？

多様性

人の生活も趣味も、楽しいことも、嬉しいことも、美味しいと思うことも、みんな**多様**

だから、「地域づくり」では、行政の作った事業を地域全体に広げるのではなく、住民がいいと思っ
たものを、
いろいろ、多種多様に作ったほうが、みんなが
ハッピーになる。

そのためには、**住民組織**や、**民間企業**など、公的機関以外の**参加が不可欠**。
行政だけでは**多様性は生まれ**ない。



資料) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「域支援事業の運動性を確保するための調査研究事業報告書」(平成30年度 老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業)

不安を除去するには何が必要か？

寛容性

地域全体で、**全員が少しずつ我慢する仕組み**。それが地域包括ケアシステム。そうでなければ、家族も本人も不安で、地域生活なんかできない。正しい知識を持つこと、個人としての相手を理解すること（同じ認知症でも全員違う）が寛容性の大切なポイント。

地域生活における不安

家に帰れなくなったら、警察や地域の人に迷惑かける。。。。

同じことばかり言うと、地域の人に変な目で見られるのでは。

相談できる人がいなくて不安。

結構普通に生活しているのに、何もできない人みたいに思われている。。。

地域の一人ひとりが、**多様な住民を受け入れられる寛容さ**

寛容さを醸成するための取組

認知症サポーター養成講座

認知症カフェ

地域での模擬訓練

相談窓口

小中学校での教育・啓発活動

地域包括ケアシステムのアウトカムを考える

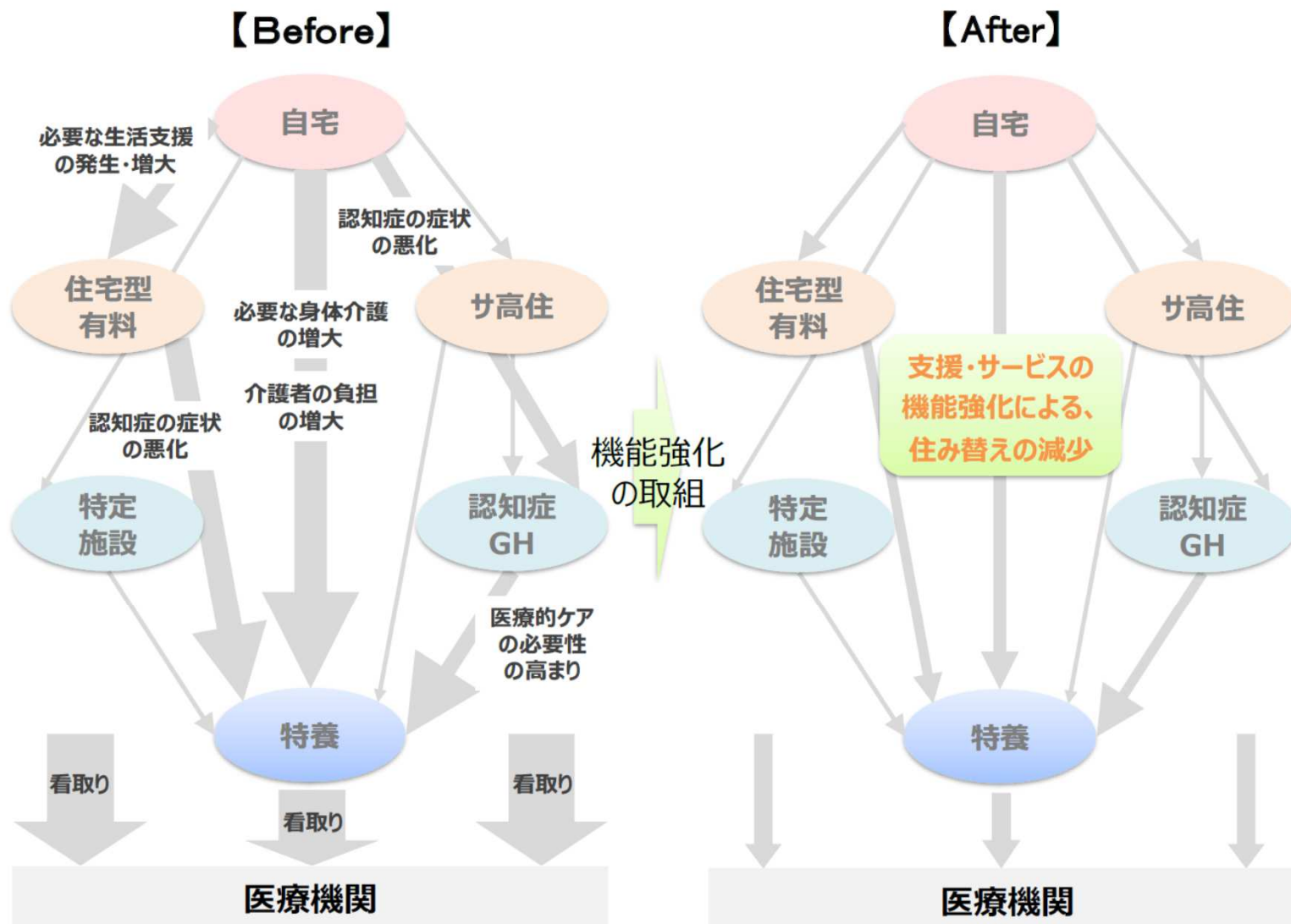
検証可能なアウトカム指標は？（提案）

自分らしさなどを指標化するのは難しいものの、いまいる場所での生活が自分らしいと仮定した場合には、ある程度の指標化が可能。地域包括ケアシステムは、生活の「継続」がゴールなので、「達成」の指標よりも、「**どれだけ継続できているか**」「**最悪の状態を回避し続けているか**」がポイントに。

指標案	データの意味	データの入手方法
在宅で限界を迎えている人の数	一般居宅の要介護者のうち、在宅での生活が限界を迎えている人の数を、ケアマネに対する調査で把握する（改善調査）。または要介護認定の訪問調査において施設検討中／施設申し込み中と回答した人の数を把握する。	在宅生活改善調査／在宅介護実態調査
施設系／居住系等入所者の居所変更率	介護保険三施設、GH、特定施設、サ高住／住有における過去1年の退所者数と退所先（死亡・居所変更）をとらえることで、最後まで「なじみの施設」で住み続けられたかどうかを把握。	居所変更実態調査
認知症で長期入院を強いられている高齢者の数	認知症高齢者のうち、1年以上精神病床に入院している人の数。	Remhrad 地域精神保健医療福祉社会資源分析データベース
地域を離れた高齢者の数（離島や中山間地での調査）	過去1年間に介護の不安などから地域を離れた高齢者の数。離島や中山間地、小規模自治体で有効な方法。単に数だけでなく、理由を分析することで施策の検討につながる。	独自調査が必要

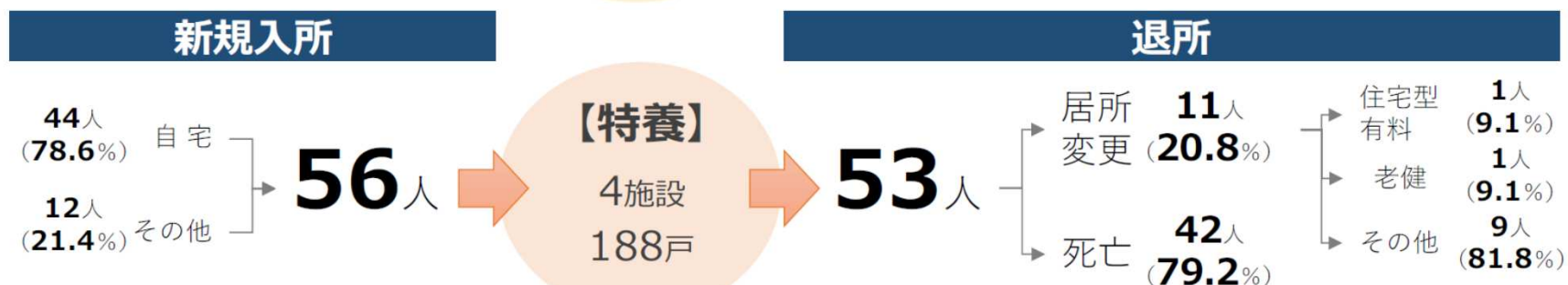
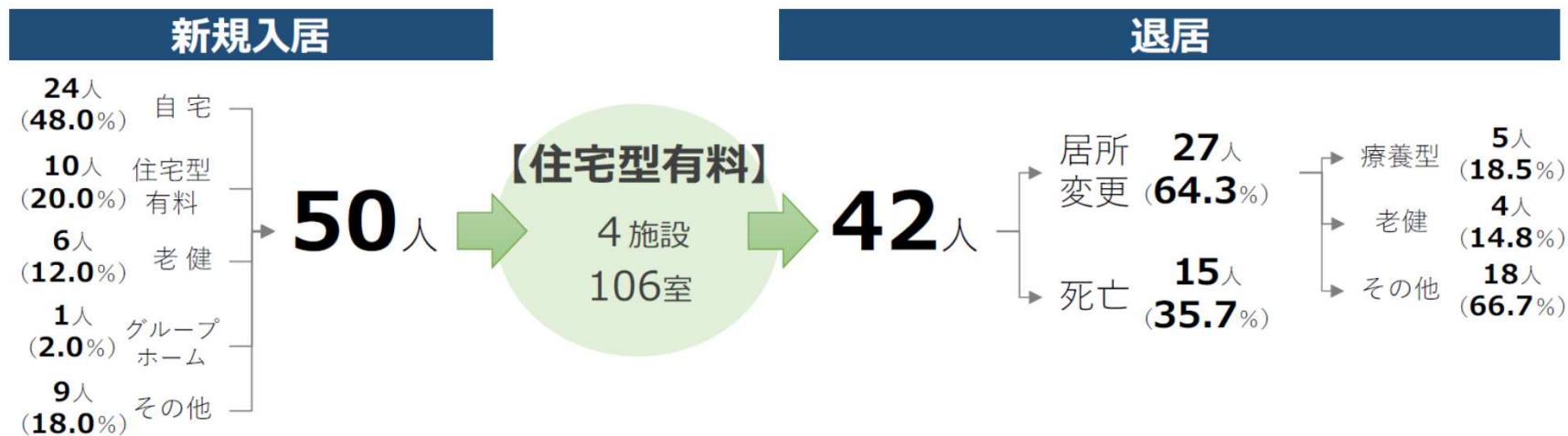
「転々とする生活」からの脱却を目指す

図表 3-3 支援・サービスの機能の強化による住み替え・医療機関での看取りの減少(イメージ)



出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「介護保険事業計画における施策反映のための手引き ～目指すビジョンを達成するためのサービス提供体制の構築～」、2019年

それぞれの施設は最期まで安心なのか？



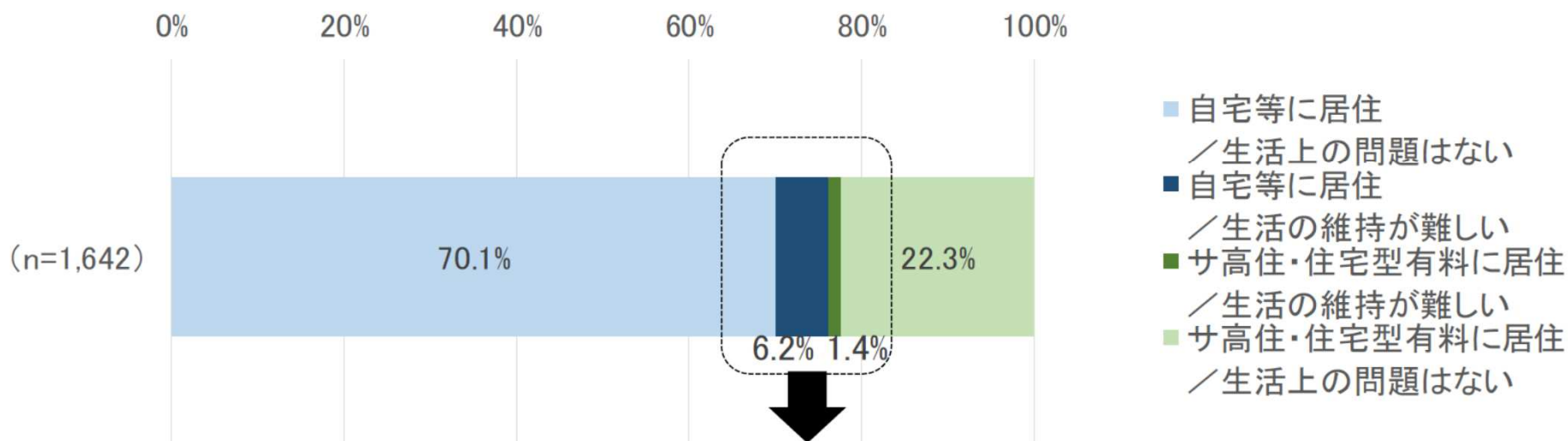
出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「介護保険事業計画における施策反映のための手引き ～目指すビジョンを達成するためのサービス提供体制の構築～」、2019年

まずは在宅で生活が難しくなっている人は何人いるのか？



図表 4-5 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者

(回答事業所：21か所)



自宅・サ高住・住宅型有料に居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている割合 **: 7.6%**

桑名市で自宅・サ高住・住宅型有料に居住する利用者のうち、生活の維持が難しくなっている利用者数 **: 268人(粗推計)**

出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社「介護保険事業計画における施策反映のための手引き ～目指すビジョンを達成するためのサービス提供体制の構築～」、2019年

在宅生活改善調査を実施したら、、、

